

昭和30年度京大泌尿器科患者の統計的観察

京都大学医学部泌尿器科教室 (主任 稲田教授)

教授 稲田 務

加藤 篤二	多田 茂	後藤 薫
大森 孝郎	新谷 浩	仁平 寛巳
酒徳 治三郎	八田 栄造	日野 豪
杉山 喜一	片村 永樹	麻生田 幸雄
山崎 巖	村上 仁勇	

Statistical Investigation on Patients, Operations and Main Urological
Examinations in Department of Urology,
Kyoto University in 1955.

Tsutomu INADA, Tokuji KATO, Shigeru TADA, Kaoru GOTO, Takao OMORI,
Hiroshi SHINTANI, Hiromi NIHIRA, Jisaburo SAKATOKU, Eizo HACHIDA,
Takeshi HINO, Kiichi SUGIYAMA, Eizyu KATAMURA, Sachio ASODA,
Iwao YAMASAKI and Masao MURAKAMI.

Department of Urology, Faculty of Medicine, Kyoto University.

(Director : Prof. T. Inada)

The following results were obtained through statistical survey on out-and in-patients, who were consulted from January to December in 1955.

1) Numbers of outpatients were 1990 (1448, males and 542 females) and inpatients were 252 cases.

2) Of these outpatients, venereal disease, urolithiasis, urogenital tuberculosis, tumors of urogenital tracts were 209, 235, 353 and 180 cases respectively.

3) Among 252 inpatients, tuberculosis were 127, lithiasis 69, tumors 57 cases respectively.

4) Operations were made in this year 358 times, among which nephrectomies 82, lithotomies of upper urinary tract 49, prostatectomies 18, total cystectomies 9, partial cystectomies 7, orchi-and/or epididymectomies 55 cases were countered.

5) Cystoscopic examinations were done 1518 times.

I 緒 言

昭和30年を送るに際して我々はこの1年間に臨床的にいかなる仕事を為したかをかえりみた。即ち外来患者、入院患者、手術、主要検査等に就て大略の統計的観察を試みた。これらの仕事は全教室員が協力して行つたのは勿論であるが、本論文作成に当つては特に酒徳、八田、日野、

杉山、麻生田等が担当した。この観察は今後も毎年続けてゆき、1年間の臨床的業績をまとめると共に、逐年の推移を知りたいと思つている。

II. 外 来 患 者

本年度の外来患者総数は1990名で、その内男子1448名、女子542名で約3:1の比率となつてゐる。

特に重要と考えられる疾患々者数は表1の如くであつて、その内尿路性器結核が最も多く353例(17.7%)で首位を占め、畸形および發育異常が324例(16.3%)でこれに次ぎ、以下結石、性病関係、腫瘍の順位となつている。

時間外緊急外来患者は38例であつて、その主症状は表2に示した。

次いで主要疾患別に観察して述べる。

1) 性病関係(非淋性尿道炎を含む)

非淋性尿道炎が99例で最も多い。急性淋疾は23例で、両者の比率は約5:1となつている(表3)。

2) 尿路性器結核症

表1に示した様に当科重要疾患中最も多く、患者数は353例で、その内腎結核102例、副睪丸結核73例が代表的なものである(表4)。

3) 尿路結石症

本症患者 235 例中結石部位の分類による疾患数は249であつて、上部尿石症は113例、下部57例で上部が約2倍をしめ、その他尿石排出後が14例である(表5)。

4) 尿路性器腫瘍

悪性腫瘍としては膀胱35例で最も多く、腎15例、前立腺10例がこれに次ぐ。良性腫瘍の内では前立腺肥大症49例、膀胱乳頭腫15例が重要である(表6)。

5) 尿路性器畸形・發育異常

膀胱三角部異常症 120例、腎下垂 69例、包茎 58例の順でこれを表7に示す。

6) 尿路性器外傷・異物

表8に示す

7) その他

その他の上部尿路疾患では腎水腫、腎炎、腎盂炎が多く(表9)、下部では膀胱炎が総計 359 例で最も多い(表10)。その他性器、外陰部等の疾患は表11に示した。その他泌尿器科的正常は291例、他科疾患では内科のそれが最も多い(表12)。

Ⅲ. 入院患者

入院患者数は252例(男子189, 女子63)でその疾患数は344であり、主要疾患は表13の如く

結核、結石、腫瘍の順であり、その細目は表14~17に表示した。

Ⅳ. 主要手術々式、検査法並に処置

本年度の手術数 358 回で、手術をうけた患者数は332である。表18にこれを示した。

膀胱鏡検査1518回(患者数1043)その他の主要検査法は表19に示した。

主要レ線検査法は表20の如くである。

Ⅴ 総括ならびに結語

昭和30年度における京都大学泌尿器科外来、入院患者、手術術式、主要諸検査について統計的観察をこころみこれを表示した。

外来患者数1990, 入院患者252, 手術数358, 膀胱鏡検査数1518等であつた。

表1 主要疾患々者数

疾患別分類		例数	百分率
性	病	209	10.5
結	核	353	17.7
結	石	235	11.8
腫	瘍	180	9.0
畸形	發育異常	324	16.3
外傷	異物	22	1.1

表2 時間外緊急外来患者例数

主 症 状			例 数
尿	疝	閉	25
無		尿	3
腎		痛	2
外		傷	1
血		尿	1
そ	の	他	6
計			38

表3 性病関係

診断名	例数
急性尿道淋	23
慢性尿道淋	1
淋後性尿道狭窄	60
軟性下疳	16
混合下疳	1
潜伏梅毒	7
尿道狭窄術後	2
非淋性尿道炎(♂)	97
非淋性尿道炎(♀)	2
計	209

患者数: 209

表4 尿路性器結核症

	診 断 名	例 数	小計	計
尿 路 結 核 症	左 腎・膀 胱 結 核	43	102	236
	右 〃	36		
	両 〃	10		
	左 腎 結 核	5		
	右 〃	8		
	腎 結 核 の 疑	30		
	結核腎剝後単腎	78		
	結核腎部分切除後	3		
	結核性萎縮膀胱	8		
	膀胱結核の疑	3		
結核性尿道狭窄	12			
性 器 結 核 症	左 副 睪 丸 結 核 症	15	73	150
	右 〃	35		
	両 〃	23		
	副 睪 丸 結 核 の 疑	11		
	副 睪 丸 結 核 術 後	28		
	前 立 腺 結 核	35		
	前 立 腺 結 核 の 疑	1		
	精 嚢 結 核	1		
	精 系 結 核	1		
	計	386		386

患者数: 353

表5 尿路結石症

	診断名	例数	計
上部尿路結石症	左腎結石症	27	113
	右 "	24	
	両 "	5	
	左尿管結石症	21	
	右 "	25	
	偏側腎・尿管結石症	9	
	両側 "	2	172
	上部尿路結石症の疑	37	
	結石腎剝後単腎	6	
	腎切石術後	8	
下部尿路結石症	腎盂切石術後	1	63
	尿管切石術後	7	
	膀胱結石症	39	
	尿道結石症	10	
	前立腺結石症	7	
	膀胱腔瘻結石症	1	
	膀胱碎石術後	4	
尿路結石排出後	膀胱切石術後	1	14
	尿道憩室結石術後	1	
	尿管切石術後	1	
計		249	

患者数: 235

表6 尿路性器腫瘍

診断名	例数
腎腫瘍	15
(内, 右7, 左8)	
腎腫瘍術後	3
腎腫瘍の疑	7
腎線維腫	1
腎被膜腫瘍	1
尿管腫瘍	1
膀胱乳頭腫	15
膀胱腫瘍	35
膀胱腫瘍術後	1
膀胱腫瘍の疑	2
尿膜管腫瘍	1
腹部腫瘍	6
女子外尿道口良性腫瘍	19
陰茎腫瘍	1
尿道・陰茎腫瘍術後	5

前立腺肥大症	49
前立腺肥大症術後	3
前立腺肥大症の疑	3
前立腺腫瘍	10
前立腺腫瘍術後	1
前立腺腫瘍除根術後	3
睪丸腫瘍	2
睪丸腫瘍術後	1
副睪丸腫瘍	1
副腎腫瘍	1
計	187

患者数：180

表7 尿路性器畸形・發育異常

診 断 名	例 数
矮小腎	2
馬蹄鉄腎	3
変位腎	5
腎缺損	1
腎下垂	69
重複腎盂尿管 (完全2, 不完全14)	16
多発性嚢胞腎	5
孤立性腎嚢腫	2
尿管異所的開口	2
下垂腎固定術後	1
膀胱三角部異常症	120
膀胱憩室	9
尿道下裂	8
先天性外尿道口狭窄	2
包茎	58
矮小陰茎	9
停留睪丸	11
精管缺如	1
精管閉塞	1
仮性半陰陽 (女性1, 性不明1)	2
脊椎椎板裂	2
篩嚢包茎	3
計	332

患者数 324

表8 尿路性器外傷・異物

診 断 名	例 数
腎外傷	2
外傷性萎縮膀胱	1
尿道外傷	5
外傷性尿道狭窄	5
陰莖外傷	4
瘢痕性陰莖彎曲	1
睪丸破裂	1
外傷性陰囊血腫	1
膀胱異物	2
計	22

患者数 22

表9 その他の上部尿路疾患

診 断 名	例 数
水腎症	72
腎盂炎	29
腎炎	35
腎盂腎炎	4
膿腎症	14
腎出血	31
腎血管の疑	6
ネフローゼ	4
腎造設術後	3
尿管狭窄	16
尿管腔癒	3
尿管管炎	3
尿管皮膚吻合術後	4
乳糜(血)尿	7
塩類尿	13
その他	31

表10 その他の下部尿路疾患

診 断 名	例 数
急性膀胱炎	146
慢性膀胱炎	74
膀胱三角部炎	96
膀胱頸部炎	23
計	359

膀胱神経症	11
神経因性膀胱	12
膀胱白斑症	9
膀胱腫瘍	2
所謂膀胱頸部疾患	15
夜尿症	26
尿失禁	4
膀胱尿道炎	3
尿道道瘻	1
尿道周囲膿瘍	1
尿浸潤	1
炎症性尿道口狭窄	5
骨盤斑	16
その他	8

表11 その他の性器，外陰部疾患

診 断 名	例 数
急性睪丸炎	3
陰囊水腫	15
睪丸萎縮	10
雄性不妊症	8
無精子症	5
乏精子症	7
無精液症	2
精系水腫	2
精系軸捻転	1
精系静脈瘤	4
性欲性副睪丸炎	2
急性副睪丸炎	9
精液水腫	8
精子侵襲	1
前立腺炎	4
前立腺膿瘍	3
精囊炎	5
陰萎	16
性的神経衰弱症	17
包皮龟头炎	16
陰部疱疹	5
尖圭コンジローム	23
鼠径ヘルプ	6
子宮頸管炎	3
陰唇潰瘍	1
単純性糜爛	3
その他	17

表12 そ の 他

診 断 名	例 数
泌尿器科的正常	291
内科的疾患	42
外科 //	31
婦人科 //	27
精神科 //	13
皮膚科 //	11
眼科 //	1
その他	12

表13 主要疾患患者数（入院）

疾患別分類	例 数	患者百分率	疾患数
結核	94	37.3	127
結石	62	24.6	69
腫瘍	56	22.2	57
その他	78	31.0	91
計	290		344

入院患者数：252，例数および疾患数との差は同一患者にて2ヶ以上の疾患を有するものがあるため。

表14 尿路性器結核症（入院）

診 断 名	例 数
腎（膀胱）結核	60
術後	8
結核性萎縮膀胱	7
副睪丸結核	38
術後	1
前立腺結核	10
結核性尿道狭窄	2
精囊結核	1
計	127

患者数 94

表15 尿路結石症（入院）

診 断 名	例 数
腎結石	31
尿管結石	27
膀胱結石	10
前立腺結石	1
計	69

患者数：62

表16 尿路性器腫瘍(入院)

診 断 名	例 数
腎 腫 瘍	8
“ 術 後	1
膀 胱 腫 瘍	21
“ 術 後	1
前 立 腺 腫 瘍	2
尿 道 腫 瘍	1
“ 術 後	1
睪 丸 腫 瘍	2
腎 被 膜 腫 瘍	1
前 立 腺 肥 大 症	19
計	57

患者数: 56

表17 その他の疾患(入院)

診 断 名	例 数
水 腎 症	13
尿 道 狭 窄	13
膿 腎 症	12
腎 下 垂	5
重 複 腎	4
腎 出 血	4
尿 管 狭 窄	4
停 留 睪 丸	4
神 經 因 性 膀 胱	3
そ の 他	29
計	91

患者数: 78

表18 主要手術々式

手 術 名	回 数
腎 剔 除 術	82
腎 部 分 剔 除 術	1
腎 切 石 術	15
腎 盂 切 石 術	6
腎 尿 管 切 石 術	5
腎 固 定 術	1
腎 瘻 造 設 術 (両側2, 片側1)	3

腎 瘻 搔 爬 術	4
尿 管 切 石 術	23
尿 管 形 成 術	4
尿 管 腸 吻 合 術 (両側3, 片側1)	4
尿 管 皮 膚 吻 合 術 (両側8, 片側5)	13
尿 管 膀 胱 新 吻 合 術 (両側1, 片側2)	3
膀 胱 切 石 術	3
高位切開膀胱異物除去術	2
試験的高位切開術	3
膀胱全剔除術	9
膀胱部分切除術	7
高位切開尿道形成術	4
外尿道形成術	2
尿 瘻 搔 爬 術	2
尿道周囲膿瘍切開術	3
前立腺剔除術	16
前立腺剔除・膀胱切石術	2
前立腺切開術	1
睪 丸 剔 除 術 (両側5, 片側8)	13
睪 丸 固 定 術	3
陰囊水腫根治手術	2
副睪丸剔除術 (両側8, 片側28)	36
睪 丸 部 分 剔 除 術	3
片側睪丸・他側副睪丸剔除術	3
精 管 剔 除 術	19
精 管 形 成 術	1
包 茎 形 成 術	40
外尿道口切開術	2
鼠径ヘルニア根治手術	1
試験的開腹術	1
人工肛門設置術	1
虫 垂 剔 除 術	1
卵 巢 腫 瘍 剔 除 術	1
腸 管 剔 除 術	2
痔 瘻 剔 除 術	2
外陰部・皮膚良性腫瘍切除術	8
そ の 他	1
計	358

手術をうけた患者数 332

表19 主要検査法並処置法

検査法 処置法	回数
膀胱鏡検査法	1518
尿管カテーテル法 (片側137, 両側632)	769
膀胱カテーテル法	14
経尿道的電気焼灼法	170
膀胱碎石術	10
膀胱異物(結石)摘出術	21
尿道結石摘出術	3
尿道鏡検査法	7
ブジー挿入法	388
腎穿刺法	8
膀胱穿刺法	1
陰嚢水腫穿刺法	15
体腔液穿刺法	2
電気焼灼法	23
睾丸試験切片採取法	24
淋菌培養法	81

表20 主要レ線検査法

撮影法	回数
単純撮影法	1195
逆行性腎盂〃	789
排泄性腎盂〃	245
尿管〃	24
後腹膜腔気体〃	40
気腎法	1
膀胱撮影法	86
尿道〃	268
大動脈〃	28
腎実質〃	5
静脈〃	5
精嚢精管〃	45
瘻孔〃	7
その他	22
計	2760

(内, 2種以上の撮影法を同時に併用したもの24)